

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（営 業統括）	販売量の動き	・価格比較サイト等の過剰な価格引き下げ誘導による 値崩れがおき、新製品発売日から即日販売価格が下 がる商品が多数見られるが、販売数量、注文総額共に増 加している。
	やや良く なっている	百貨店（広報担 当）	販売量の動き	・記録的な猛暑のなか、来客数は2けた増と6～7月 を上回るペースで推移している。帰省ギフトで好調な 食品に加えて、婦人、紳士衣料ではカットソーやサン グラス、日傘など盛夏アイテムが再浮上している。ま た、秋物衣料、雑貨では高額品、トレンドアイテムの 先買いが目立ち、ファッションの動きが顕著である。
		百貨店（店舗政 策担当）	来客数の動き	・猛暑で夏アイテムの売上が好調であり、台風や雨等 の影響も少ないことから来客数は前年を上回る結果と なり、売上も若干ではあるが前年比プラスとなっている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・暑い日が続き、季節商材の稼動が良い。
		スーパー（仕入 担当）	販売量の動き	・猛暑の影響で飲料、冷めん、アイス、果物等の商品 の売上が2～4割アップしているが、生ものは敬遠さ れている。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・客層は変わらないが、飲料、弁当、総菜が売れ始め ている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・非常に暑く雨も無く、夏物が絶好調であり、前年度 を大幅に上回っている。
		家電量販店（店 長）	単価の動き	・気候の影響で、エアコンを中心とする高級商品が売 れ単価が上昇している。
		高級レストラン （支配人）	単価の動き	・3か月前と比べて来客数は少ないが、客単価が223 円ほど上がり、個人客が若干多く来店している。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・来客数が前年比4%増加している。
		パチンコ店（経 営者）	来客数の動き	・大きな店舗の来客数が昼夜共に大分増えており、競 合店も若干増えている。
	変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・販売点数減、単価アップとなっており、売上額は昨 年並みである。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・商店街の話では、猛暑のため飲料等が多少良いが、 衣料品等はあまり良くないということである。
一般小売店〔衣 料・雑貨〕（経 営者）		お客様の様子	・8月は上旬から猛暑続きで夏物は売り切ったが、引 き続き猛暑が続いたせいで秋物の売行きは良くない。	
一般小売店〔家 電〕（経営者）		販売量の動き	・売上は確かに上がっているが、エアコンや扇風機 等、暑さに影響されているものであり、その他の商品 はあまり上がっていない。	
一般小売店〔米 穀〕（経営者）		お客様の様子	・当店の客は60才以上の方が多く極端な変化は無い が、少しずつではあるものの価格重視で買物をする客 が増えている。	
一般小売店〔酒 類〕（経営者）		お客様の様子	・猛暑のせいか人の出歩きが良くない。電話による注 文があるのみで、酒の動きも芳しくない。	
一般小売店〔食 料雑貨〕（経営 者）		来客数の動き	・客は特別な理由があって大型ショッピングセンター の店を選んでいようには思えず、来客数は良くも悪 くもない。	
一般小売店 〔靴・履物〕 （店長）		来客数の動き	・相変わらず来客数は前年を割り、バーゲンの影響も あるが単価も低くなっている。	
一般小売店 〔靴・袋物〕 （従業員）		お客様の様子	・暑さに非常に左右されており、夏のトラベル需要は 好調であるが、日用品の動きは非常に悪い。秋物も全 く動いていない。	
一般小売店〔C D〕（営業担 当）		単価の動き	・来客数、客単価共に大きな変化はなく、安定してい る。	
一般小売店 〔茶〕（営業担 当）		お客様の様子	・仏事や法事に茶を購入する客が目立っている。売上 は昨年をクリアしているが、来客数は伸びがなく昨年 並みに推移している。	
一般小売店〔文 具〕（販売企画 担当）		来客数の動き	・非常に暑く、店の前を通る客の数が極端に少ない が、売上としては客単価含めてそれほど悪くはない。	

百貨店（管理担当）	来客数の動き	・前月比でほぼ横ばいに推移しており、大口顧客も以前に比べて変動はない。
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・暑いせい、来客数、売上共になかなか伸びず、景気が良くなっているという実感はない。
百貨店（総務担当）	お客様の様子	・猛暑により夏物衣料の売上は好調に推移しているが、全般的に客の財布のひもは固い。
百貨店（総務担当）	お客様の様子	・相変わらず購買態度は慎重である。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・前半は夏物セールが引き続き好調で売上が良かったが、猛暑が続いたためか中旬以降は来客数が減ってきており、売上につながっていない。
百貨店（販売管理担当）	お客様の様子	・来客数は前年とほぼ同様であるが、客の商品や価格に対する目がシビアになっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・売上は前年並みである。
スーパー（統括）	お客様の様子	・前年の売上は何とかクリアしているが、ここ1～2か月で来客数や販売量の変化は見られず、景気は停滞している。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候に恵まれ人出が多くなり、ファストフード、飲料、アイス等を中心に販売量が大きく伸張したが、高単価商品を中心に動きは良くない。
衣料品専門店（営業担当）	お客様の様子	・暑さが異常に厳しく客が少なく、非常に販売量が少なくなっている。
衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・夏物クリアランスセール品と秋物の薄手ジャケットが売れている。秋物立ち上がりもまずまずである。
家電量販店（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響で季節家電を中心に白物家電製品が好調に推移し、省エネタイプを中心に売れている。一方でパソコンは7月には復調の兆しを見せたが、勢いがなくなっている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・整備は順調に入っているが、販売があまり芳しくなく、昨年より2割ほど減少している。
乗用車販売店（渉外担当）	販売量の動き	・新商品投入により販売増を見込んだが、ガソリン価格上昇等の影響で低燃費車の売行きは好調であったものの全体の底上げに苦戦している。
その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	販売量の動き	・中旬まで非常に良い成績で推移してきたが、後半になって夏物の動きが止まり、まだ暑いため次シーズン商品も売れない。
その他専門店 [雑貨]（従業員）	販売量の動き	・夏のセールの期間もあまり販売量の増加がない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ランチ客と夜の接待客が増加し、夏の団体宿泊が重ならず集客できたことで、レストランの来客数、宿泊の利用人数共に前年を上回っている。宴会部門、特に婚礼は当社のハード部分が古いこともあり、若い女性の支持をなかなか得られず苦戦しており、全体としては変わらない。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・秋の旅行シーズンの見積が増えてきている。
タクシー（団体役員）	お客様の様子	・企業等が盆休みに入り、夕方からの利用客が極端に少ないが、猛暑の影響か昼間は駅構内、流し営業共に利用客は多い。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・受注案件は多少多くなっているが、契約に至るまでは時間が掛かる。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・夏のボーナス商戦が終わり夏休みに入ってから、あまり量販店等ではにぎわいを感じない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・テレビ加入は依然厳しい状況にあるが、インターネットと電話加入は好調に推移している。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・契約件数は増加したが、解約件数の増加も相変わらず多く純増ベースでは横ばいの状況である。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・依然として解約数は横ばい状態にあり、減少傾向になる気配もない。
競馬場（職員）	販売量の動き	・売上は前年度比96%で、旧盆の時期であったにもかかわらず伸びがみられない。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今年も例年と変わらず大きな変化はない。ユーザーの購買意欲を上げる材料が少ない。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・土地分譲がそれなりにまだ続いている。

やや悪くなっている	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量は目標の約70%に過ぎず、前月よりは回復したもののここ数か月は低迷が続いている。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・気温が非常に高かったため外出を控える人が多く、影響が大きい。アパレル商材についてはパーゲン品の動きが非常に悪く、秋物商材については紹介期にあたり、食料品については安全性問題の報道が目立ち客が購入に慎重になっていることから、消費の勢いは弱くなっている。
	百貨店(店長)	販売量の動き	・来客数は前年比104%増だが、記録的な猛暑のため秋物商材の動き出しが遅く、買上率が低い。
	スーパー(統括)	来客数の動き	・日替わり商品の卵やしょうゆ等、価格を強調した商品については、朝から行列を作るが、それ以外の商品を購入する傾向はあまり見られない。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・デイリー商品の売上が落ち、特に弁当が売れなくなってきている。客は昼の単価を下げる工夫をしている。
	コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・同業の店舗が増え、販売量が落ちている。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・猛暑のため日中の来客数が少なく、購買に対する意欲が低く客単価も低下している。
	乗用車販売店(店長)	単価の動き	・新型SUVが発表になり、来客数は非常に増えているが、コンパクトカー等単価の安いものが売れている。
	乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・トラックの販売量は、環境規制がほぼ対応し終わり買い控えが出てきているため、前年比で約4割ほどダウンしている。原油も高く人件費も高騰しているなか、トラックに対する設備投資ができないという状況である。
	その他専門店 [服飾雑貨] (統括)	お客様の様子	・来客数は順調に伸びているものの、財布のひもが固く、客単価が低調である。
	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・行事が無くケータリングもほとんど無いため、売上が店のみとなり、悪くなっている。
	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・猛暑で日中のランチタイムは遠方からの客足が遠のき、客は冷房の効いた店内で汗が引くまでゆっくりするため一回転で終わる状況である。
	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・夏休み分散化のせい、3～4週目までの電話問い合わせや見積依頼が非常に少ない。
タクシー運転手	お客様の様子	・各企業で夏休みを取っていること、接待が少ないこと、あまりの暑さで客が外に出ないことが原因となり、今月はあまり良くない。	
設計事務所(経営者)	それ以外	・行政からは耐震診断や構造の仕事のみ発注が出ている。意匠設計を中心としているところは仕事はあるものの良くはない。	
悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・大型店との兼ね合いもあるが来客数が減少している。消費者の財布のひもの緩め方が非常に悪く、購買力が低下している。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が昨年と比べて150人前後低下している。競合状況を確認しても多く入っている様子はなく、単価は昨年をクリアしているが、客数減が売上を大きく左右している。
	コンビニ(経営者)	それ以外	・中元、サマーギフトの売上が前年比68%、通常の売上が前年比90%前半で大変厳しい状態が続き低迷している。従業員不足が続き、パート、アルバイトの時給を大幅アップせざるを得ず、フランチャイズ加盟店として経営が成り立たない状態が続いている。
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・あまりにも暑すぎたせいで、来客数が減っている。おしゃれな物よりも、実用品で安価な物であれば買上点数も増えているようであるが、全体として客単価、商品単価共に下がっている。
	その他小売[生鮮魚介卸売] (営業)	販売量の動き	・この猛暑で生鮮食料品の消費が落ちている。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・客からの照会、問い合わせのみで、実行に移す話が少ない。
	住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・この猛暑の7～8月は建売住宅が1棟も売れず、土地分譲も1区画も売れていない。住宅を見に来る人も少なく、周りの業者も当地区では軒並み良くない。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	金融業（審査担 当）	取引先の様子	・企業は金利上昇をにらみ、5～20年の長期間、固定金利で調達しようとしており、依然として資金調達ニーズはおう盛である。
	変わらない	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・受注件数、売上共に前年同月を上回っているが、納期が短くなり残業が増え、利益率を圧迫している。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・大きな設備投資は無く、消耗品等の部品加工がいつものように流れてきている。
		その他製造業 〔ゲーム〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・相次いで発売されたハードウェアの投入効果もここへ来て一段落し、年末には値下げされるとのアナウンスがあるため買い控えもある。
		建設業（経理担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・現場は忙しく動いているが、受注競争が激しく望む価格で受注できない上、材料は上げ止まっており、利益を生み出すのが大変である。
		金融業（審査担 当）	取引先の様子	・取引先のガソリンスタンドは、卸値が上昇しているものの近隣競合との価格競争があり、思うように販売価格への転嫁ができず、利益の上がらない状態が続いている。
		不動産業（総務 担当）	取引先の様子	・オフィスの満室状態が続いており、賃料改定交渉もスムーズに進んでいる。
		税理士	取引先の様子	・猛烈な暑さで冷蔵庫、クーラー等家電販売の売上が良かったが、衣類、建設、飲食の売上は伸び悩んでいる。
		経営コンサルタ ント	取引先の様子	・小売店でも猛暑の影響がプラスに出ているところとそうでないところとの差があり、二極分化が進んでいる。
	社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社が見られる。	
	やや悪く なっている	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・得意先から発注される仕事量が非常に少なくなっている。
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・個人需要はやや伸びてきているが、法人需要が非常に下がってきている。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・金属の価格が高騰し仕入原価が上がっているのに、価格改定交渉が難攻している。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・全国からの引き合い件数が非常に減っている。
		輸送業（営業統 括）	それ以外	・燃料が上がり、利益的な部分で採算が合わないところが出てきている。
		金融業（支店 長）	取引先の様子	・法人関係の取引先の倒産、個人客の自己破産が増えてきている。
		その他サービ ス業〔廃棄物処 理〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・顧客先工場等の稼働率が悪くなってきた影響で、受注量は昨年より10%程度下回っている。
		その他サービ ス業〔情報サー ビス〕（従業員）	受注量や販売量 の動き	・通信系設備投資に関連する問い合わせ、提案機会、概算見積提出等の件数はある程度あるものの、受注にまで結び付く案件が少なくなってきた。
	悪く なっている	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・行政での審査のため、受注が2か月ほど止まっている。リフォーム、改修、木造は動いているが、現在動いている現場は改正前の申請であり、新規物件の受注はぱったりと止まっている。
輸送業（総務担 当）		それ以外	・軽油等の高騰によるコスト高が続き、運賃に転嫁できないため採算が取れない状態である。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・人材派遣、人材紹介どちらも求人の要請が強く派遣スタッフの枯渇状況がますます強くなってきている。
		求人情報誌製 作会社（営業担 当）	求人数の動き	・採用数を増やす企業が若干増えている。
		求人情報誌製 作会社（広報担 当）	求人数の動き	・人を採用しようとする企業が多く、求人媒体は好調である。それだけ仕事があるということで、景気は良い。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数はフルタイム、パート求人共に前月と比較して増加している。有効求人数はフルタイム求人が増加し、パート求人は減少傾向にあり、合計では増加傾向を示している。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人獲得件数が前年同月比で約10%程度伸びている。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・受注は前年と比べて堅調だが、働く側の派遣スタッフが不足しており、成約スタートしても常に条件の良い仕事を探している傾向が顕著にあり定着率が下がっている。
	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・派遣や紹介予定派遣で就業を希望して登録に来る人数が減っており、3か月前と変わらない状況で、登録の予約を入れてもキャンセルする人がしばしば見られる。
	求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・臨時雇用者の社員化等、人材確保の手法に工夫が見られるが、正社員採用のための広告予算は増えていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比5%で減少している。産業別に見ると建設業で前年同月比30%減で、運輸業、製造業でも減少が目立っている。有効求人数は前年同月比の減少幅が小さくなっている。一方有効求職者数は前年同月比10%以上の減少が続いているため、求人倍率は1倍を超しているが、相変わらず派遣、請負が増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が増加傾向にあり、特に中小企業で条件緩和等の求人条件の変更が多く見受けられるが、求職者の希望条件とはまだ開きがある。
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・転職者数はほぼ横ばいで落ち着きを見せており、しばらくこの状況が続く。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人票は7月より件数が減少したが、昨年度よりも多く届いている。
やや悪くなっている	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が6月から前年同月比で減少に転じている。とりわけパートタイムの減少幅が大きく、企業に充足感が広がってきている。
悪くなっている	-	-	-